

「大島かけはし」は、地域住民の皆様へ大島架橋事業に関する情報をお伝えするものです。

大島架橋事業は、今年度、路線測量と予備設計を行っています。

～出前講座「大島振興と架橋を考える」を開催しました～

これまで、大島架橋に関する住民アンケート結果や社会的影響などについての意見交換の場として「大島振興と架橋を考える懇談会」を2回開催してきました。懇談会等の中で「若い人の意見を聞く場を設けてほしい」や「都合によりこれまで参加できなかった人にも懇談会の内容を説明して欲しい」という意見があり、そのような声にお答えするため、今回、出前講座を開催しました。当日は、約30名の方々が参加され、「大島架橋事業」への質問や「課題への解決策」などについて多くの意見が出され、盛況に開催することが出来ました。

記

- 日時 平成21年3月6日(金) 午後7時から午後8時40分まで
 場所 大島公民館 2階研修室
 内容 1. 説明
 ○大島架橋事業について
 ○住民アンケート結果について
 ○課題の抽出について
 2. 意見交換

出前講座開会



説明状況



意見の発表状況



課題解決への提案状況



【出前講座意見交換のまとめ】

(1) 「大島架橋事業」について

- ① 大島架橋の橋梁形式の選定には、住民も加われるように検討して欲しい。
- ② 橋が無料化になることは、大賛成である。
- ③ 水産物を今までは船で運搬することで他地域に比べ不利な状況だったが、車により運搬できることで条件が非常によくなる。
- ④ 船と車では所要時間がほとんど変わらないというが、船は、乗り遅れると次の船まで大きく遅れるので、次回からの説明では、このことも説明して欲しい。
- ⑤ 架橋が出来れば救急車による搬送は、乗り換えも信号待ちもないし、雨の日などの船への乗り換えの患者への負担を考えると、船と車では大きく違うと思う。
- ⑥ 橋やトンネルで事故の場合は、通行止めにする必要があるので、出口付近に表示板を設けて欲しい。また、トンネルや橋の中央部に車両がUターン出来るスペースを設けられないか。その他、設計段階で警察と協議して進めてほしい。
- ⑦ 一般県道大島浪板線の擦れ違いが困難な箇所については、橋が完成するまでに解消して欲しい。
- ⑧ 橋が出来ることによって離島としての優遇策がなくなるが、現在の優遇策について教えてほしい。
- ⑨ これからも、出前講座を開催して欲しい。

(2) 「課題への解決策」について

- ① 車の免許がない人のために、バス路線の新設が必要である。
- ② 「大島を考える会」のようなものを立ち上げて活性化を進める。
- ③ 子供の防犯面について、防犯協会や学校PTAにも声がけして協力してもらうことにより、様々な意見や活動が出来ると思う。
- ④ これまで、夏だけ人が多かったが、1年中、人が来るようになり、治安が悪くなることから防犯カメラの設置、見回りなどの組織活動が必要である。
- ⑤ 大島のホームページを立ち上げて、民宿やイベントの情報を随時更新して盛り上げていければと思う。
- ⑥ 橋がかかったら、渋滞箇所の把握など定期的にデータを取り公表をすることで、道路の渋滞や事故の減少につながると思う。
- ⑦ ゴミの問題やマナーの向上について、子供たちにポスターを作成して貰い、ポスターを掲示することで効果が現れると思う。

大島架橋についての「お問合せ」は [こちら](#)まで

宮城県気仙沼土木事務所 道路建設班

〒988-0034 宮城県気仙沼市朝日町1番1号

TEL.0226-24-2546(直通) E-mail:ksdbk@pref.miyagi.jp

気仙沼市 建設部 三陸道・大島架橋・唐桑最短道促進課

〒988-8501 宮城県気仙沼市八日町一丁目1番1号

TEL.0226-22-6600(内線567) E-mail:project@city.kesenuma.lg.jp